



## いわ いし なに 岩や石は何から、どうやってできたの

### かざん 火山のはたらきでできる

おお いし のことを岩といいます。岩も石も大きさがちがうだけで、同じものなので、あわせて岩石といいます。

かざんのはたらきによってできた岩石を、火成岩といいます。地面の下には、熱くてどろどろにとけたマグマがあります。火山が噴火するときには、マグマがふき出します。このマグマが火山からふき出したあと、地表で固まって岩石ができます。また、マグマが火山からふき出す前に、地下で冷やされて、ゆっくりと固まってできる岩石もあります。

### かた がんせき おし固められてできた岩石

こいし すな ねん土などがおし固められてできた岩石を、たい積岩といいます。何億年から何百万年前の大昔に、海や湖の底にたまった小石、砂、ねん土などが長い年月の間に上からの重みなどにおされて、固まってできた岩石です。

### すがた せいしつ か がんせき 姿や性質が変わった岩石

かせいがん せきがん ちか ねつ じめん ちから  
火成岩やたい積岩が、地下のマグマの熱や地面の力で、おしつぶされるなどして、すがた  
せいしつ か がんせき  
性質が変わってしまった岩石があります。この岩石を變成岩といいます。このように、いわ  
いし かざん なが ねんげつ かた  
石には、火山のはたらきでできるもの、長い年月をかけておし固められてできるもの、マグ  
マの熱やおしつぶす力を受けて変化してできるものなど、いろいろなでき方があります。

(監修・国司 真)

